

◆研究討議

哲学研究と教育研究—その乖離と邂逅

教育哲学とはどういうことか。哲学研究と教育研究は、一体、何が違うのか。関心の位相が違うのか。重点の置き方が違うのか。それとも研究の目的が違うのか。あるいは、哲学は基礎で、教育は応用ということなのか。

むろん、哲学研究一般・教育研究一般があるわけではない。同じ哲学研究でも、ディシプリンの違いによって事情が違う。では、たとえば分析哲学と思想史とでは、教育研究に対する距離の取り方がどう違うのか。

しかし、ある哲学者の議論を論じて、最後にその教育学的な意義を付け足すといったたぐいの教育哲学研究は、哲学研究の二番煎じにすぎないのではないか。教育の問いは、哲学の副次的な応用問題なのか。むしろ、教育の問いは、哲学の中核だったのではないか。

一体、個々の研究者の研究史に即してみた時、哲学研究と教育研究とは、どういう関係にあったのか。あるいは、むしろ今現在、院生指導のアクチュアルな現場において、哲学研究と教育研究をいかに噛み合わせているのか。

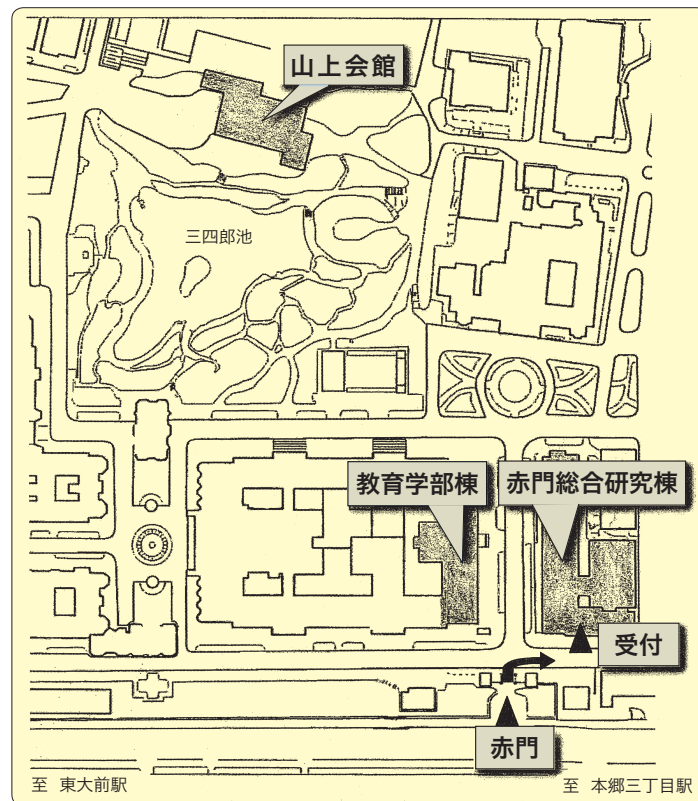
◆課題研究

教員の養成教育において 教育哲学の果たすべき役割とは

平成18年7月に中央教育審議会は、答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」を提出し、我が国における教員養成制度の在り方を改善・充実するために「教職大学院」制度の創設を提案した。そこでは、学校現場で有用とされる実践力・応用力にきわめて大きな位置が与えられている。それに対して、教育哲学が教員の養成教育において果たすべき役割はこれまで以上に曖昧になるのではないかと危惧されている。しかし、今日のように学校教育が全体的に見直される状況では、教育哲学が果たしてきた教育への根源的省察は、むしろおろそかにされてはならない重要な課題である。

そこで、第49回大会における課題研究では、「教員の養成教育において教育哲学の果たすべき役割とは」をテーマに、教員の養成教育において教育哲学の果たすべき役割を問い直し、併せて教員の養成教育における教育哲学教育の課題を明らかにしたい。

会場案内



◆教育学部棟

- ・一般研究発表
第3室/第4室
- ・全国理事会
- ・全国編集委員会

◆山上会館

- ・懇親会

◆赤門総合研究棟

- ・受付
- ・一般研究発表
第1室/第2室/第5室
- ・研究討議
- ・課題研究
- ・総会
- ・ラウンドテーブル
- ・会員控室

大会会場までのアクセスはすでにお送りした大会案内をご覧ください。
本郷キャンパスには駐車場がありません。車での来場はご遠慮下さい。

教育哲学会 第49回大会プログラム

期間

2006年10月14日(土)
15日(日)

会場

東京大学本郷キャンパス
赤門総合研究棟・教育学部棟

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

TEL/FAX: 03-5841-3935

当日 TEL: 080-5698-0031

日程概要

第1日 (10月14日)

9:00 受付
9:30

一般研究発表

12:00
昼食・休憩
全国理事会

13:30
研究討議

16:30

17:00
懇親会

19:00

第2日 (10月15日)

9:00 受付
9:30

一般研究発表

12:00
昼食・休憩
全国編集委員会

13:00
総会

14:00
課題研究

16:30
16:50
ラウンドテーブル

18:50

参加要領

- (1) 受付
東京大学本郷キャンパス 赤門総合研究棟玄関
- (2) 参加費
正会員……………3,000円
大学院生・学生・臨時会員……………2,000円
- (3) 懇親会費
正会員……………5,000円
大学院生・学生・臨時会員……………3,000円
- (4) 一般研究発表
発表20分 質疑応答5分

※万一欠席する場合は、発表者は速やかに大会本部にご連絡下さい。なお、欠席の場合、時間の繰り上げは行いません。

第1日 10月14日(土)

第1室 赤門総合研究棟 1F・第7教室

- 司 会：伊藤 敏子(三重大学)／菱刈 晃夫(国士舘大学)
- 9：30 聖パウロ学校創設時の教育理念に関する一考察
—16世紀初頭のイングランドにおけるcommonwealth概念を中心として—
大川 なつか(早稲田大学大学院・院生)
- 9：55 教育学的想像力論の思想史的背景
高屋 景一
- 10：20 臨床教育的「宗教教育」に開くレトリック
河野 洋子(神戸女学院大学・非常勤)
- 10：45 キルケゴールの「告白的語り」におけるスタイル
山内 清朗(大谷大学短期大学部・講師)
- 11：10 パウル・ティリッヒの絶望論
—不安・自己肯定・生の意味—
若林 新平(宮川医療少年院・法務教官)
および一橋大学大学院・院生)
- 11：35 全体討議 (−12：00)

第2室 赤門総合研究棟 2F・200講義室

- 司 会：今井 重孝(青山学院大学)／森 邦昭(福岡女子大学)
- 9：30 J. S. ミルにおける「経験」と「自由」
—概念連合と自由の関係に注目して—
高宮 正貴(上智大学大学院・院生)
- 9：55 J. S. ミルの人間本性論における道徳的能力の形成
—カント『人間学』の「素質」概念を手がかりに—
奥井 現理(東北大学大学院・院生)
- 10：20 ヘーゲルの悲劇論に関する教育学的考察
塩見 剛一(関西学院大学大学院・研究員)
- 10：45 ニーチェの教養論の根底
森本 倫代(東京工芸大学・非常勤)
- 11：10 物との関係における人間形成
久保田 健一郎(大阪大学・助手)
- 11：35 全体討議 (−12：00)

第3室 教育学部棟 1F・158講義室

- 司 会：平野 正久(日本大学)／新井 保幸(筑波大学)
- 9：30 経験の語りとしての文学作品
—W.ベンヤミンを手がかりに—
辻 敦子(京都大学大学院・院生)
- 9：55 希望と不安の相互連関
—O. F. ボルノウ「希望の哲学」再考—
井谷 信彦(京都大学大学院・院生)
- 10：20 ヴィーン・ベルリン時代の S. ベルンフェルト教育思想に関する考察
鈴木 篤(広島大学大学院・院生)
- 10：45 テオドール・リットにおける「政治と教育」の問題
—“das Politische”概念の解釈をめぐって—
宮田 倫子(お茶の水女子大学大学院・院生)

- 11：10 保守革命論の教育思想
—ワイマールからナチズムへいたる教育思想の系譜—
清水 禎文(東北大学)

- 11：35 全体討議 (−12：00)

第4室 教育学部棟 1F・156講義室

- 司 会：森田 伸子(日本女子大学)／田中 智志(山梨学院大学)
- 9：30 ウィトゲンシュタイン規則論の学習論的定位置
平田 仁胤(広島大学大学院・院生)
- 9：55 境界の経験・境界としての経験
—デリダにみる異質なものととの関係—
有源探 ジェラード(九州大学大学院・院生)
- 10：20 パランプセストのエロスの共同体
—G.バタイユの思想による教育をめぐる裂け目とつながり—
宮崎 康子(京都大学大学院・院生)
- 10：45 M・J・アドラーのリベラル・エデュケーション
安藤 真聡(慶應義塾大学大学院・院生)
- 11：10 1990年代アメリカにおけるシティズンシップ教育論の展開と「討議」
平井 悠介(鎌倉女子大学・講師)
- 11：35 全体討議 (−12：00)

第5室 赤門総合研究棟 BF・第9教室

- 司 会：高橋 勝(横浜国立大学)／岡田 敬司(京都大学)
- 9：30 見る・見られる関係に関する教育学的考察
渋谷 亮(大阪大学大学院・院生)
- 9：55 教育関係の根基としての「自己—他者」関係の存在論的構造について—文化と共同性をめぐって—
安部 純子(上智大学大学院・院生)
- 10：20 鑑賞教育と他者との共生
藤澤 まどか(早稲田大学大学院・院生)
- 10：45 ケアリングにおける倫理概念とその形成の課題性
宮島 基(東京都立大学大学院・院生)
- 11：10 言語スタイルの身体化に関する「臨床教育学」的試論
—教育を語る言葉における身体性への着目—
鈴木 卓治(大阪成蹊大学)
- 11：35 全体討議 (−12：00)

- 12：00—13：30
昼食・休憩
全国理事会 (教育学部棟 1F・第1会議室)

- 13：30—16：30
研究討議 (赤門総合研究棟 2F・第6教室)

- 司 会：斉藤 直子(京都大学)／西平 直(東京大学)

哲学研究と教育研究—その乖離と邂逅

- 提 案 者：川本 隆史(東京大学)／加藤 守通(東北大学)／
西村 拓生(奈良女子大学)
- 指定討論者：丸山 恭司(広島大学)／中田 基昭(東京大学)

- 17：00—19：00
懇 親 会 (山上会館 1F)

第2日 10月15日(日)

第1室 赤門総合研究棟 1F・第7教室

- 司 会：生田 久美子(東北大学)／藤川 信夫(大阪大学)
- 9：30 千葉命吉の教育思想における「物語性」
菊池 堅
- 9：55 教育関係における〈守破離〉
—川上不自の茶道稽古論から—
山口 理沙(青山学院大学大学院・院生)
- 10：20 市川浩の身の概念にみる教育学的意味
—氣の概念との関係性に着目して—
山口 裕貴(早稲田大学・非常勤講師)
- 10：45 子どもの「自己」という課題と“場”の論理に関する研究
—日本思想の基層と空間構造との関係性を視座として—
富岡 量秀(大谷大学大学院・院生)
- 11：10 歴史的生命の表現としての芸術
—西田幾多郎芸術論にみる個の形成と共同性—
櫻井 歓(日本大学芸術学部)
- 11：35 全体討議 (−12：00)

第2室 赤門総合研究棟 2F・200講義室

- 司 会：宮寺 晃夫(筑波学院大学)／松下 晴彦(名古屋大学)
- 9：30 多文化社会における教養教育論の課題
—「古典」の意義をめぐって—
中村 夕衣(京都大学大学院・院生)
- 9：55 多文化教育の批判的再考
—ジェームズ・バンクスからナンシー・フレイザーへ—
城石 梨奈(お茶の水女子大学大学院・院生)
- 10：20 現代正義思想における教育の平等と社会的善(財)の問題—〈承認／地平融合〉による学びへの着目—
生澤 繁樹(名古屋大学大学院・院生)
- 10：45 能力をめぐる正義についての再考
西口 正文(相山女学園大学)
- 11：10 教師と教師教育者のための社会哲学
—リバタリアニズムに関連して—
田中 裕喜(滋賀大学)
- 11：35 全体討議 (−12：00)

第3室 教育学部棟 1F・158講義室

- 司 会：藤井 千春(早稲田大学)／野平 慎二(富山大学)
- 9：30 教育における「無言の質」をめぐって
國崎 大恩(大阪大学大学院・院生)
- 9：55 H・アーレントにおける「過去と未来の間」と教育の位置
朴 順南(慶應義塾大学大学院・院生)
- 10：20 エーリッヒ・フロム「自己実現」論の再定位—「在ること」と「持つこと」のダイナミズムに注目して—
関根 宏朗(東京大学大学院・院生)

- 10：45 コミュニケーションと普遍的アイデンティティとの関連における一考察—E. H. エリクソンとJ. ハーバーマスの理論に基づいて—
戸來 知子(大阪薫英女子短期大学・非常勤)

- 11：10 全体討議 (−11：35)

第4室 教育学部棟 1F・156講義室

- 司 会：米山 弘(鎌倉女子大学)／鳥光 美緒子(中央大学)
- 9：30 「子ども尊重」の教育における「子どもの消失」の問題
—J. デューイの教育論における「方法」転換の意味—
渡部 芳樹(東北大学大学院・院生)
- 9：55 愛の起源
白石 勲
- 10：20 フレーベルの子ども観とキリスト教信仰
駒木根 剛(近畿大学九州短期大学)
および町田福祉専門学校)
- 10：45 遊びが子どもの規範形成過程に及ぼす意義
—伝承遊びの構造と事例の分析を通して—
小川 博久(聖徳大学)
岩田 遵子(東横学園女子短期大学)
- 11：35 全体討議 (−12：00)

- 12：00—13：00
昼食・休憩
全国編集委員会 (教育学部棟 1F・第1会議室)

- 13：00—14：00
総 会 (赤門総合研究棟 2F・第6教室)

- 14：00—16：30
課題研究 (赤門総合研究棟 2F・第6教室)
司 会：森川 直(岡山大学)／渡邊 満(兵庫教育大学)

教員の養成教育において 教育哲学の果たすべき役割とは

- 提案者：山口恒夫(信州大学)／松浦良充(慶應義塾大学)／
宮本健市郎(神戸女子大学)

- 16：50—18：50
ラウンドテーブル
その1 赤門総合研究棟 1F・第9演習室
1920年代の子どもをめぐるまなざし—「内なる子ども」—
企画者：寺岡 聖豪(福岡教育大学)

- その2 赤門総合研究棟 1F・第10演習室
美的人間形成論の新たな可能性
—ワイマール期ドイツにおける「子どもの描画」問題をめぐって—
企画者：真壁 宏幹(慶應義塾大学)